

宗教活動セミナーに御用心!!!

冬が終わるにつれ、ペラペラのスーツに身を包んだ若者の集団が街に増えて来た。彼らはせかせかと雑踏を歩き、電車を乗り継いで様々な会社を渡り歩く。そして時々曇天の空を見つめ、自分の将来を憂いて溜息を付く。そう、彼らはいわゆる「就活生」である。就活生たちは今、自身が大学で培った9割方社会人になってからは役に立たないであろう経験と主に仲間内での飲み会において本領を発揮するコミュニケーション能力を武器に企業と戦っているのである。面接に次ぐ面接、嵩高く積まれてゆく不採用通知……想像しただけで心の中に暗雲が広がって行く。ストレスの塊のような「就活」を行っていれば、時には不安だつて感じるだろう。そんな時、強い味方となるのが「就活セミナー」である。就職活動において重要なことをポイントで学べたり、憧れの職についている社会人から直接アドバイスをもらえたりと良いことづくめの「就活セミナー」。

しかし、美しいバラには棘があるように素暗らしき制度「就活セミナー」にも危険なものが存在する。その一例となりうべきものが去る月日に行われた「The☆就活セミナー」である。真ん中の☆は「つのだ☆ひろ」の影響なのかそれとも「ダイヤモンド☆ユカイ」へのリスペクトなのか気になるところだ。

そしてそんな奇抜なセミナーを主催するのは「ヨハン早稲田キリスト教会」と名乗る宗教団体である。「ヨハン早稲田」という、ともすれば売れない芸人と勘違いされてしまいそうな名前に若干の不安を感じるが、この教会は一体どのような団体なのであるのか？

調べてみたところ、どうやらこの教会は韓国系のプロテスタント教会であるらしい。掲げるビジョンは「大学の福音化」、ひいては「日本総福音化」を目指している模様である。

「福音」とは英訳すると「Good News」、つまり「良い知らせ」という意味である。そして聖書における意味は「神の祝福の知らせ」だ

あるらしい。これだけを考えて、「何と穏やかで能天気な教えなのだろうか」と思われるかもしれない。しかし、早稲田大学構内での執拗な勧誘やゴスペルなどのカミーサークルを使った信者の獲得策、「ヨハン早稲田キリスト教会」にまつわる噂は穏やかでないものも多い。そのような教会が主催するセミナーとはどんなものであったのだろうか？やはり布教を目的としていたのだろうか？電話による教会へのインタビューを試みた。

本日の御言葉

その役に立たない僕を外の暗闇に追い出せ。そこに泣きながらのこぼれ涙を流して泣きだそう

「タイ」による福音書

二十五章十三節より

「もしもし、この前開催された就活セミナーについてお聞きしたいのですが、どのような人が来ていたのですか？」
 「ソウデスネ、才匠者サントカ日立、モヤノンノトカが来テマシタヨ」
 「その人達は教会の方なのですか？」
 「ソウデスネ」
 「布教とは関係ないのですか？」
 「ナイデスネ」
 「当日はどのような感じでセミナーが行われたのですか？」
 「私ハ参加シテイナイノデヨク分カリマセニガマズ皆デ礼拝ヲシテカラセミナーヲヤツタミタイデスヨ」

電話に出た人は韓国人であったようで、たまにカタコトになるもおおむね流暢に日本語をしゃべっていた。ところで気になるのは「礼拝をした」という点である。これは「布教」ではないのか。しかしその後、電話主は何を聞いても「私は参加していないのでよく分からない」の一点張りであった。ちなみに今後のセミナー開催予定は未定、とのことであった。

何から何まで怪しさに満ちた「The☆就活セミナー」。このセミナーに参加した人達の内定先が「宗教法人 ヨハン早稲田キリスト教会」でないこともイエス様にお祈りするばかりである。

早

早

早

早

早

早

早

早